

令和4年度

# 第1回学校運営協議会



4月7日（木）入学式

令和4年4月25日（月）13:00~15:15

浜松市立上島小学校

## 第1回学校運営協議会 次第

13:00～ 開 会 【司会：高橋、記録：清水】

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 新規委員への任命書の伝達（新規2名）
- 4 自己紹介
- 5 「浜松市学校運営協議会規則」の確認及び「学校運営協議会自己評価」について
- 6 議長の選出 ※出席した委員の中から互選

13:20～13:50 授業参観（5校時）

※当日、授業一覧を配付します。「授業の視点」を参考に、御参観ください。

14:00～15:05 熟 議 【司会：議長】

- 7 熟議
  - (1) 令和4年度学校運営の基本方針について【校長】
  - (2) 「夢育やらまいか事業」について【教頭】
  - (3) 学校運営協議会自己評価＜評価項目1＞の記入【会長】

15:05～15:13 【司会：山内】

・瀧所長、鈴木指導主事より

15:13～15:15 連絡事項

- 8 連絡事項
  - ・第2回学校運営協議会開催予定 6月22日（水）13:00～15:15（多目的室）
  - ・その他

15:15～ 閉 会

### 学校運営協議会での「熟議のルール」

#### ★学校運営協議会とは？

学校運営と学校運営について必要な支援について協議する機関。そのため、学校運営についての熟議の充実がポイント！

#### ★「熟議」とは？

多くの当事者（委員）による「熟慮（よくよく考えること）」と「議論」を重ねながら、課題解決を目指す対話をする事。

#### ★「熟議」のルール

- ◎他人の意見を尊重し、否定しない。
- ◎できるだけ多くの方が発言できるようにする。
- 傾聴（目を見て、うなずいて、笑顔で、聴く）
- 発言は、分かりやすく、簡潔にする。
- 建設的（ポジティブ）な意見を言う。
- 他人の意見を参考に、どんどん発想をふくらませていく。
- 共感して考えが変わった場合には、そのことを伝える。



校訓  
誠 実

学校教育目標  
夢を持ち、ともに伸びる子

令和4年度の重点方針

「かかわりの中で自他の成長、よさを実感できる子」の育成

やさしさ  
いっぱい

かかわる子

進んで周囲とかかわ  
ることができる子

- ・あいさつ
- ・人間関係形成

元気  
いっぱい

やる気  
いっぱい

みつめる子

自分の成長、よさを  
実感できる子

- ・目標設定
- ・振り返り

高める子

たくましく、しなや  
かに自分を高める子  
・基盤となる心と体

徳育

体育

知育

キャリア教育の視点

◎かかわる力

◎みつめる力

○自分を高める力

○学びを生かす力

豊かな学びを支える魅力ある教職員

- 子供の声に耳を傾け、寄り添い、行動する教職員（安心・安全な学校、子供の心の居場所づくり）
- 進んで学び、自己改革に努める教職員（自己研鑽）
- 互いに高め合い、助け合う教職員（同僚性、働き方改革）

学校運営協議会を核とした「社会に開かれた教育課程」の推進

子供の健全育成のため、協働・連携する学校・家庭・地域

浜松市の教育理念

- 「未来創造への人づくり」
- 「市民協働による人づくり」

浜松市の目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供

浜松市の3つの方針

- 子供の「生きる力」をはぐくむ教育の充実
- 魅力ある教育を支える環境の整備
- 子供の育ちを支える家庭や地域との列挙・協働

曳馬中学校区の目指す子供の姿

「夢と希望と勇気をもって生きる子供」

中学校区の重点

- ・生活習慣
- ・節度節制

中学校区共通テーマ

「早寝 早起き あいさつ 朝ごはん」

令和3年度 学校評価アンケート 前期・後期比較

前期より↑



前期より↓

下線:後期77%以下の項目

質問内容	児童				保護者				教職員			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない
① 以前よりも、気持ちのよいあいさつができるようになってきている。	88%	12%	90%	10%	71%	26%	76%	22%	50%	50%	88%	12%
② 以前よりも、周りの人に対して、時と場に応じた言葉づかいができるようになってきている。	83%	17%	84%	16%	76%	21%	79%	19%	50%	50%	58%	42%
③ 自分なりの目標をもち、進んで運動や健康づくりに取り組んでいる。	86%	14%	86%	14%	68%	31%	73%	26%	93%	7%	77%	23%
④ 以前よりも、進んで運動や体力づくりをしたり、健康に気を付けて生活できるようになってきたと感じる。	86%	14%	86%	14%	66%	33%	71%	27%	79%	21%	84%	16%
⑤ 「～ができるようになりたい」「～を知りたい」という気持ちをもって学習に取り組んでいる。	89%	11%	89%	11%	76%	21%	78%	20%	100%	0%	98%	2%
⑥ 学習や行事を通して、自分が「できるようになったこと」や「分かったこと」に気付いている。	88%	12%	88%	12%	84%	13%	87%	11%	95%	5%	91%	9%
⑦ 毎日楽しく学校に通っている。	86%	14%	87%	13%	90%	9%	89%	10%	100%	0%	95%	5%
⑧ 自分のよさに気付いている。	86%	14%	85%	15%	70%	24%	74%	21%	76%	24%	84%	16%
⑨ 人の役に立ちたいと思っている。	94%	6%	94%	6%	80%	16%	83%	12%	86%	14%	100%	0%
⑩ 自分は「よくなっている」「成長している」という思いをもっている。	87%	13%	88%	12%	77%	17%	78%	15%	83%	17%	88%	12%
⑪ 自分の目標や自分で決めたことに向かって努力している。	89%	11%	89%	11%	74%	23%	76%	21%	88%	12%	93%	7%



## ◎後期アンケート集計結果より考察（前期アンケートとの比較から）

### <成果>

- ・ 児童、保護者、教職員の結果ともに、前期アンケートと比較して多くの項目（児童：4項目、保護者：10項目、教職員：7項目）において数値が上がりました。また、昨年度アンケートとの比較でも、多くの項目の数値が上がりました。学校、家庭、地域それぞれが上島小の児童の教育に前向きに関わり、児童の成長につながっていることを感じました。
- ・ アンケート項目「学習や行事を通して、自分が『できるようになったこと』や『分かったこと』に気付いている」が、前期と同様に児童・保護者ともに高かったです。また、「自分は『よくなっている』『成長している』という思いをもっている」の数値が、児童・保護者ともに上がりました。今年度の重点目標「自らの成長を実感できる子の育成」が、学校や家庭での日々の生活を通して、学校、保護者、地域の力で着実に達成に近づいていることが分かりました。
- ・ アンケート項目「以前よりも、気持ちのよい挨拶ができるようになっている」が、児童・保護者、教職員ともに数値が上がりました。学校における挨拶指導や挨拶週間などの取り組みに加え、保護者や地域の皆様の声掛けや励ましにより、児童の挨拶への意識が高まっていることを感じました。ただ、児童や教職員に比べ、保護者がやや低い数値であったことから、今後は、学校の中だけでなく、地域や家庭における挨拶への意識を高められるよう、挨拶の大切さや望ましい挨拶の仕方などの指導をさらに進めるとともに、学校、地域、家庭の三者が一体となって上島小の挨拶を盛り上げていく必要性を感じました。

### <課題>

- ・ アンケート項目「自分なりの目標を持ち、進んで運動や健康づくりに取り組んでいる」が、保護者、教職員でやや低かったです。また、「進んで運動や体力づくりをしたり、健康に気を付けたりして生活できるようになってきた」が、昨年度と比べて、児童、保護者、教職員ともに、やや下がりました。健康や体力づくりへの意識を一層高めていく手立てやコロナ禍の中で運動機会の確保について、さらに検討を進めていく必要性を感じました。
- ・ アンケート項目「自分のよさに気付いている」が、保護者でやや低かったです。学校生活の中で発揮している子供のよさを、保護者の皆様と一層共有し、称揚していく必要性を感じました。また、「人の役に立ちたい」という子供たちの思いを生かした活動をさらに進め、自己肯定感や自己有用感を高めていく必要性を感じました。
- ・ アンケート項目「自分の目標や自分で決めたことに向かって前向きに努力している」が保護者においてやや低かったです。振り返りの場を大切にし、自分の目標や決めたことに向かって努力することの意義や価値を感じることができるようになるとともに、キャリア教育を一層推進し、「何のために学ぶのか」「学んだことがどのように自分の生活や将来につながっていくのか」を児童自身が意識できるように教育活動を工夫して進めていく必要性を感じました。
- ・ 児童、保護者、教職員の数値の差が大きかったアンケート項目がいくつかありました。そのような意識の差が生まれた原因を分析するとともに、「目標とする具体的な姿」をはっきりと設定し、教職員だけでなく、児童や保護者とも目標について共通理解し、教育活動を進めていく必要性を感じました。

### <保護者自由記述より>

- ・ 保護者自由記述『令和4年度、家庭・地域と学校が連携して子供に育てていきたい力(こと)』については、集約したところ、以下のような意見が多く見られました。
  - 「他への思いやり」
  - 「挨拶」
  - 「コミュニケーション能力」
  - 「地域とのつながり」
  - 「登下校時の安全確保」「防犯・防災対策」

### ◎令和4年度に向けて

- ・ 本校の児童は、「自分のよさに気付く」「自分なりの目標を持って主体的に取り組む」「他のかかわり」について課題があると考え、全児童が本校の教育目標に迫ることができるように令和4年度の教育課程を編成します。
- ・ アンケート結果から明らかになった本校児童のよさや課題を踏まえ、学校教育目標「夢を持ちともに伸びる子」に迫っていくために、来年度の重点方針を「かかわりの中で自他のよさや成長を実感できる子の育成」と設定し、夢に向かって挑戦するたくましさとしなやかな心を持ち、周囲とかかわり合いながら、互いに成長していく子供をはぐくんでいきます。
- ・ 学校、地域、家庭の連携を一層深め、地域の人材や事物など学校外の教育資源も活用しながら、上島小の児童の望ましい成長を支えていきます。

(様式1)

令和4年4月26日

浜松市立上島小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 山崎 賜 様

浜松市立上島小学校運営協議会  
会長 黒柳 寿一

### 夢育やらまいか事業に対する意見書(案)

令和4年4月25日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

#### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 学校教育目標「夢を持ちともに伸びる子」の達成を目指して、講師による「生き方授業」を実施し、子供たちに夢や希望をはぐくむ授業をするべきである。  
⇒「むくろじ学習（総合的な学習の時間）」の「生き方授業」において、講師を外部に依頼し、「生き方授業」を実施する。
- ② 子供たちが本に親しみながら、様々な世界や分野に視野を広げていくことができるように図書を購入するべきである。  
⇒関係図書を購入し、学校図書館で貸出を行う。  
⇒図書ボランティア（保護者・地域）の方による読み聞かせ活動を行う。  
また、ボランティアの方との交流の充実を図る。
- ③ 校内環境の改善や児童の創意工夫を発揮できる機会として、花壇の整備活動を実施すべきである。  
⇒環境整備委員会の児童を中心として、花壇の整備活動を行う。花壇のデザインを児童が主体的に考えて整備することで、自己有用感を高め、さらに主体的な活動を促す。